

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	建設部 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		連絡先	052-654-7937
事務事業名	アスベスト施設の点検		連携課	管理課、会計課
目的	対象(誰・何を)	アスベストの使用された施設		事業期間
	意図(どういう状態にしたいか)	アスベストの粉塵状況の状態監視を行います。		
概要	本組合の所管する施設の内アスベストの使用された2施設(施設事務所、旧浚渫事務所共同油倉庫)について、実施された定期点検報告を取りまとめます。		根拠法令等	労働安全衛生法 石綿障害予防規則
活動内容	本組合の所管する施設の内アスベストの使用された2施設について、年1回のアスベスト粉塵調査及び年4回の目視点検を行い、定期点検報告を取りまとめます。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	346	132	132	203	
人件費	千円	1,586	1,249	1,254	1,363	
合計	千円	1,932	1,381	1,386	1,566	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
アスベスト測定対象施設の点検(件) (単年度管理型)	目標	3	2	2		-	対象施設は、施設事務所、旧浚渫事務所共同油倉庫の計2件です。	
	実績	3	2	2		-		
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
アスベスト測定対象施設の確認率(件) (単年度管理型)	目標	100	100	100		-		
	実績	100	100	100		-		
事業進捗状況(28年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標どおり、アスベストの粉塵状況の状態監視を行いました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	石綿障害予防規則に基づき、継続的な状態監視を行う必要があります。また、対象施設に対するニーズは高いと考えております。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	アスベスト粉塵の状態監視は、港の安全性・信頼性の向上に寄与すると考えております。また、アスベストの粉塵状況の状態監視により、健康被害の防止といった成果が得られております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	最小限の適正なコストで成果を上げております。					

4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
現況の粉塵調査・目視点検において、状態の劣化は認められておりませんが、継続的な監視が必要です。	継続して点検を行っていきます。